

## ユニバーサルデザイン2006ニューズペーパー No.4

### 会津地域におけるユニバーサルデザインの推進パート3

前号で、紹介しました、本年、新しく設立します、「会津地方UDパートナーシップ連携会議」は、現在、メンバ - の募集とともに会津若松市と連携していけるような組織づくりをしています。

より多くの皆様にユニバ-サルデザインを知っていただき、実践していただき、参加者の相互理解を深めた新たな人的ネットワークを構築し、UD啓発活動の継続性、拡大性に繋げるようにして行きたいと思えます。

利用者が、建物や施設、サ-ビスなどが、UDとして適切かどうか、判断し、適切なものについては、「UDマ-ク」を発行し、利用者に見易いように掲示してもらおう「UDマ-ク」をまずは、会津若松市の公共施設から取り入れて頂けるようにして、民間の施設でも表示して頂ける様にいたします。

UDに興味がある方は、是非ご参加ください。

### 市民参加型：「まちなかUDチェック」

本年も、福島県生活環境部さんからの受託により、「ふくしま型UDネットワーク形成促進事業」を開催しました。そのカリキュラムの一つである、「市民参加型 まちなかUDチェック」について、ご紹介します。

講座のねらいとしては、「体験を通してのUD理解」とし、日常的な視点で、UDを考えるのではなく、非日常的な視点（違った立場）で、UDを考えることで、新たな気づきと価値観をもつていただき、それぞれの立場（市民、行政、企業等の立場）でのUDへ対するかかわりを考えるであります。

少し、硬く感じますが、5～6名のグループで、会津若松市の中心市街地、観光施設等を実際に歩いて、各々が、気付いた箇所をメモして行き、グル-プごとにチェック項目の洗い出しと討論をし、より良いUDは何かを見出して行く講座です。

普段は何気なく、見ている「まち」が、ちょっと視点を変えるだけで、全然違う「まち」になってしまいます。また、ワークショップでは、和やかな雰囲気の中にも、それぞれの意見をぶつけ合いUDだけではなく、参加者の相互理解を図れるようになっていきます。



(裏面に続く)

# イザベラバードの辿った会津地域のUD

1878年(明治11年)イザベラ・バードが、関東～東北～北海道を旅して、旅行記として、まとめた「日本奥地紀行」の中に記されている会津田島～大内～高田～坂下にいたる街道についてのアクセス状況並びに観光施設についての調査を行い新たな観光ルートとして提案していく事業を行いました。その調査内容の一部をご紹介します。



## 大内宿

国重要伝統的建造物保存地区で、道路等は、舗装されていませんし、建物も江戸時代のものです。店先(建物)の前には、段差があり、川が流れており、車椅子での通行は、可能ですが、介助の方がいらした方が安全です。(お店への出入りは、店員の方が手伝ってくれます。)



曲がり屋を利用しお土産店(段差:敷居が高いです。)



通路脇の水路(道の両側にあります。)



専用駐車場脇には、多目的トイレがあります。



車椅子専用駐車場もあります。

会津 NPO センターでは、2002 年より、会津地域のユニバーサルデザイン推進事業を行っております。本年も、福島県生活環境部の委託を受け、「ふくしま型ユニバーサルデザイン人材養成講座」をはじめ、様々な講座を行います。ユニバーサルデザイン社会づくりと一緒に考え行動してくれる仲間を募集しています。お気軽にご連絡ください。

特定非営利活動法人会津 NPO センター  
〒965-0032 福島県会津若松市旭町4番25号 ☎ 0242-39-6539  
e-mail anpo@aizunpo.or.jp